

山の恵みが汐風とともに、海の恵みとなってやってきました

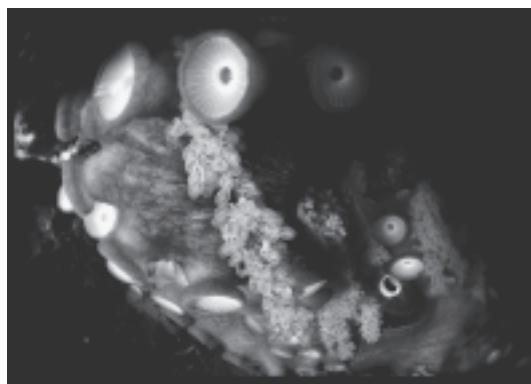
南三陸観光フォトコンテスト水中写真部門結果発表

「南三陸観光フォトコンテスト」では、今年も町内外からたくさんの応募がありました。特に、水中写真は、たくさんのすばらしい作品が寄せられました。

2月27日(土)には、ペイサイドアリーナを会場に、フォトコンテスト(水中部門)の表彰式と水中映像講演会が開催され、人気テレビ番組「世界一受けたい授業」でも先生として活躍している、水中写真家の中村宏治さんと、同じく水中写真家の阿部秀樹さんをお招きし、南三陸の貴重な水中映像と世界の海をテーマにしたすばらしい講演をしていただきました。

今回は、2009南三陸観光フォトコンテスト水中写真部門の入賞作品を紹介します。

グランプリ

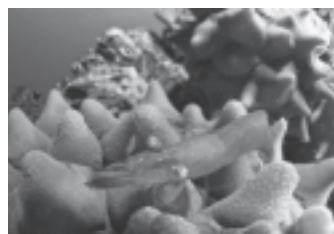


「Baby Baby Baby」
佐野しゅんじ様 (横浜市)

準グランプリ



「ファイティングポーズ」
御園生智様 (東京都多摩市)



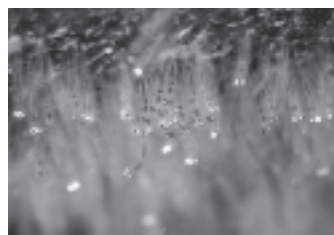
「威風堂々」
三浦美江様 (横浜市)

中村審査員特別賞



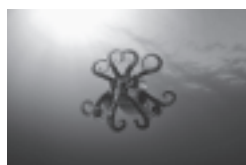
「私の栈敷席」
藤田良枝様 (東京都新宿区)

阿部審査員特別賞



「ハッチアウト」
古菅正道様 (東京都足立区)

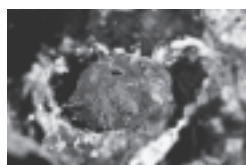
入選



「威嚇」河田正隆様



「迷宮の世界」三浦美江様



「食す」仲村明子様



「ため息」照沼由美様



「日蝕」藤田良枝様



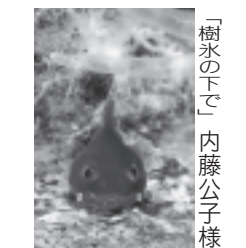
「銀鱗」小賀坂一隆様



「漂流者」水田力ヨ子様



「早春賦」遠藤陽一郎様



「樹木の下で」内藤公子様



「花ヒケニ」河本新一様

南三陸観光フォトコンテスト 展示会のお知らせ

◇期間 水中写真部門：4月1日(木)～11日(日) 一般写真部門：4月12日(月)～25日(日)

◇時間 午前9時～午後6時 ◇場所 街なか交流館1階

※南三陸観光フォトコンテスト一般写真部門については、広報みなみさんりく5月号でお知らせします。

庄内の風⁴³

友好町の山形県庄内町を紹介する情報コーナー

今年は桜も清河八郎も見頃!!

4月下旬ごろに桜の時期を迎える清川地区。清河八郎記念館や清河神社でも大輪の桜の花を見られます。

今年には明治維新の魁となり、「明治維新の扉は清河八郎が開け、坂本龍馬が閉じた」と作家の司馬遼太郎から評された清河八郎の生誕180年を記念して、さまざまなイベントを開催します。

清河八郎生誕180周年記念シンポジウム

◇日時 4月11日(日) 昼12時30分

◇場所 清川公民館

◇会費 500円(別途懇親会費：2,000円)

◇内容 「回天の道」踏査・検証報告、基調講演(佐竹迪氏)、パネルディスカッション等

◇定員 150名

◇申込方法 はがき、FAX、Eメールのいずれかの方法で①住所②氏名③年齢④電話番号⑤懇親会への参加・不参加を明記して申し込みください。

◇申し込み

〒130-0013 東京都墨田区錦糸3-7-11(株)環境計画内
元気・まちネット

☎090-5494-8699 FAX 03-3829-4692

Eメール：yaguchi.m@so-kk.jp

清河八郎例大祭

◇日時 5月5日(水) 午前8時30分～

◇場所 清河神社

◇内容 浦安の舞の奉納等(同日に清河八郎顕彰剣道大会も開催します)

◇問い合わせ 庄内町商工観光課立谷沢流域振興係

☎0234-56-2213

※9月には、清河八郎「回天の道」文学散歩の旅ツアーを開催予定です。



例大祭に浦安の舞を踊る巫女たち 満開のさくらがみられる清河神社

夢大使 リレー通信⁴⁵



夢大使
藤島 純七さん
(仙台市)

各地で活躍する南三陸町夢大使の皆さんの声をお届けする「夢大使リレー通信」を連載しています。今回は、七十七銀行志津川支店の元支店長で、アマチュア写真家としても活躍している藤島純七さんです。

まず、趣味の写真の現況報告です。3年前から、「アサヒカメラ」、「日本カメラ」、「フォトコン」という全国写真雑誌の月例コンテストにチャレンジし、おかげさまで年3〜4回入選できるようになりました。南三陸町で撮影した作品で何とか入選したかと思いましたが、やっと「入谷打囃子」でフォトコンの本年1月号にて「特選」(2位グループ)となり、同誌に掲載されました。山里の道を通り、神社へ向かう行列を見守るおばあさんが心に留まり撮影したものです。審査員の英伸三先

生からは、「静と動の対比が大変印象的である。また、秋祭りの1コマを通じて、過疎や高齢化など、今、農村が抱える問題が浮上してくるようだ。」という選評をいただきました。入谷打囃子を撮影した作品では、河北写真展のほか、数回、入賞させていただきました。改めて、被写体となった入谷の皆様へ感謝申し上げます。入谷の話題をもう一つ。昨

年の11月に、みやぎ民話の会叢書『南三陸町入谷の伝承・山内郁翁のむかしあたり』が発刊されました。朝日新聞で紹介されたことから、私も早速購入しました。小田嶋利江さんが編集、百話収められています。山内さんの語りの雰囲気そのままに読みやすく書かれています。私は七十七銀行志津川支店長時代、ロビー展で「入谷昔話」を写真と文章で数点紹介し、おかげさまで好評を博しました。その折、山内さんに現地を案内していただいたのが昨日のように思い出されます。本当に面白い本なので、まだお読みになっていない方には是非お勧めしたいと思います。さて、南米チリ大地震に起因した2月28日の津波で、漁業関係者をはじめ、被害に遭われた方々に心よりお見舞い申し上げます。私も当日、「かき祭り」で志津川に行きました。関係者の方々に津波と祭りの中止の対応に追われ大変だったと思います。ご苦勞様でした。微力ながら、これからも「キラキラ井」をはじめ、南三陸町のPRに努めたいと思いますので、よろしくお願ひ申し上げます。

私の「入谷物語」